

# 令和5年度第3回研究授業・研究協議会

2の2算数、3の3理科、5の2体育

令和6年1月31日（水）13:30-14:20

## 2の2算数「長さ」

・身の回りのものの長さを測る活動を通して、長いものの長さの測り方を考える。



☆ 班で一つ教室内的のもので測りたいものを決めさせる。例) 黒板、教室(床・天井・高さ)、テレビ、ロッカー、本棚(高さ)、窓、扉、机の周りの長さ



### 3の3理科 「磁石」

・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解する。



問題 「どのようなものがじしゃくに引きつけられるだろうか。」

「調べたいもの」を子供たちに用意させ、実験を行う



☆ 実験しながらタブレットで結果をまとめる。



長い釘はどうでしたか？  
引きつけられた班？  
引きつけられなかった班？  
みんなで確認してみましようか。



☆ 「付く」「付かない」という表現ではなく「引きつけられる」「引きつけられない」という表現を使えるよう声をかける。

# 5年2組体育 「ボートボール（ゴール型ゲーム）」

- ・ゲームをより楽しむためのルールを考えて、話し合いながらルール決定をする。
- ・仲間と声を掛け合い、協力しながらゲームを楽しむ。



前回の振り返りから、追加ルールや良かった点を紹介し、よりよいゲーム作りにつなげる

課題 「ボールを前に進めやすくするルールの工夫を考えよう」



## ○作戦会議

チームで集まり、成果と課題を基に、次のゲームに向けた作戦を立てる。



振り返り



# 協議会



## 《分科会》低学年ブロック

- ・協働的に学ぼうという様子が見られた。自分たちで計りたいものを見つけて計ったので主体的な活動になった。
- ・児童が主語にというイメージが一人歩きして、具体的な姿がよくわかっていない。

## 中学年ブロック

- ・自分たちがやりたいということを取り入れていくことが、主体的な学びの大事なポイント
- ・考察・結論に至るまでに、うまく進められなかったという反省があったが、児童の実態が関係している。
- ・子供たちは「鉄がつく」というのは何となく知っていて、それを本当にそうなのか？と考えさせたかった。
- ・授業のゴールを子供たちに明確にさせた上で、手段として主体的・対話的な学びをさせたかった。



## 高学年ブロック

- ・どういう状態が主体的な活動なのか指導者側がわかっていない。
- ・主体的な児童のイメージがつかめていない。
- ・振り返りで言語化できない児童をどうフォローするか。



## 《全体会》

### H先生自評

長さの単元末、発展的な活動 子供たちの声から作った活動だった。目標の設定、評価基準の設定がぶれてしまった。楽しいだけでない学習にするにはどうしたらいいのか

### O先生自評

子供が主語になる授業を考えた。子供たちが楽しみながら実験をし、結論を出すことにチャレンジしたが、実験がピークで結論を出すところまでのモチベーションがなかった。最後は教員が引っ張ってしまった。子供達が実験で調べたいものを用意するところでは、高い意欲が見られたが、結論へ向かわせるための発問などが難しかった。

### T先生自評

体育なので、子供が動く授業なので、一見子供がよく動いていたとも言えるが、今日の主体的な学びは「作戦会議」の部分だった。タブレットの作戦ボードにはよく取り組めていた。プレーをしているチームとしていないチームの態度に差がみられた。(見ながら、あの動きがいいなどと考えているチームとそうでないチームがあった。)

